

第 72 回 社団法人日本循環器学会総会 議事録

日 時 2008 年(平成 20 年)3 月 29 日(土) 13 時 50 分～15 時 30 分

場 所 福岡サンパレスホテル&ホール(第 14 会場 大ホール)

〒812-0021 福岡市博多区築港本町 2-1

TEL : 092-272-1123 (代表)

代表正会員数 420 名

出席代表正会員数 352 名(内委任状出席 217 名)

議 事

.総会議事

第 1 号議案 : 2007 年度事業報告

第 2 号議案 : 2006 年度決算報告(追認)

第 3 号議案 : 2007 年度収支予算の修正

第 4 号議案 : 2008 年度事業計画及び収支予算承認

第 5 号議案 : 定款施行細則の変更

第 6 号議案 : 新役員・新評議員・新正会員代表の選任

第 7 号議案 : 新名誉会員・新特別会員の報告

第 8 号議案 : 委員会報告

第 9 号議案 : 第 73 回学術集会会長挨拶・第 74・75 回学術集会会長の承認

第 10 号議案 : その他

.授賞式

日本心臓財団佐藤賞, Young Investigator's Award, 国際留学生 Young Investigator's Award, 八木賞, CPIS 賞, 高安賞, 心臓血管外科賞、小児循環器賞、循環器再生医科学賞、女性研究者奨励賞、Circulation Journal Award

.総会議事の経過及び結果

定刻になり、定数を満たした旨報告があり、定款第 30 条の定めにより第 72 回松崎益徳会長が議長となり開会。資料の確認後、資料にある 22 名の物故会員に対し、黙祷が捧げられた。

続いて議長から議事録署名人に山口徹、堀正二両理事を指名し了承され、議事に入った。

第 1 号議案 : 2007 年度事業報告

議長から、2007 年度における事業の概要について、資料のとおり報告され、承認された。

第 2 号議案 : 2006 年度決算報告(追認)

議長より、議案書 16～22 ページまでの一般会計、専門医特別会計、学術集会特別会計、支部特別会

計及び地方会特別会計の2006年度会計について、昨年6月理事会にて承認され、会告にて会員へ通知している旨報告があり、追認された。

第3号議案：2007年度収支予算の修正

議長より、当初予算に未計上であった事業や内容を見直し、2007年度収支予算の補正を行った。議案書23～28ページの通りであり、今年1月理事会及び前日の評議員会で承認された旨説明があり、承認された。

第4号議案：2008年度事業計画及び収支予算承認

議長より、今年1月理事会で承認された議案書29～38ページの2008年度事業計画及び収支予算について説明があり、承認された。

第5号議案：定款施行細則の変更

議長より、昨年の評議員会において承認された選挙制度の変更、また学会運営の実態に合わせた修正について資料の通り提案され、承認された。

第6号議案：新役員・新評議員・新正会員代表の選任

議長より、2007年度に施行された選挙により選出された2008年度就任評議員および正会員代表が資料の通り報告された。

続いて、2007年3月28日開催の2007年度評議員会において、地区別定数による連記・無記名投票の結果、2008年度就任の理事及び監事が次の通り選出された。なお任期は2008年3月30日から2009年度総会開催日までである。

< 外科系理事 > 高本眞一、坂田隆造

< 支部選出理事 > 島本和明、下川宏明、和泉 徹、小川 聡、島田和幸、永井良三、水野杏一、
児玉逸雄、室原豊明、山岸正和、北 徹、友池仁暢、堀 正二、堀江 稔、
松崎益徳、土居義典、小川久雄、鄭 忠和

< 監 事 > 青沼和隆、今泉 勉

新理事長は、新理事による互選の結果、小川 聡理事が選ばれた旨報告された。

以上について一括して諮られ、承認された。

第7号議案：新名誉会員・新特別会員の報告

議長より、山口徹先生を2008年度の名誉会員として、大江透先生・笠貫宏先生を2008年度の特別会員として理事会が推薦している旨報告があり、承認された。

第8号議案：委員会報告

1) 専門医制度委員会

土居委員長より以下の通り報告があった。

例年どおり循環器専門医の認定・認定更新、及び循環器専門医研修/研修関連施設の指定・指定更新審査が行われた。

第 19 回（2008 年度）循環器専門医試験から、AHA ACLS プロバイダーコースの修了を受験必須資格とすることが決定された。

循環器専門医研修カリキュラムの第 3 回改訂版が完成した。今回の改訂は 8 年ぶりとなる。

日本専門医認定機構から指摘された本学会専門医制度の下記問題点について改善を進めている。

- 1) 循環器専門医医師像の明確化
- 2) 循環器専門医認定時の指導医による達成度評価制度の整備
- 3) 循環器専門医資格認定更新時の最新医療知識の習得（学術集会参加等）と医療倫理・安全・法律に関する研修の必須化

2) 循環器救急医療委員会

笠貫委員長より下記の通り報告があった。

組織改編を行い、委員会名変更とともに JCS-ITC 運営小委員会、蘇生科学小委員会、循環器救急医療制度小委員会の 3 つの小委員会を設けた。

2007 年 3 月に AHA と International Training Center としての契約を結び、ファカルティ、インストラクターを養成。2007 年度には 500 名を超える受講者が AHA ACLS コースを修了した。

蘇生科学の分野で日循がリーダー的な役割を果たすため、日本蘇生協議会主催の第 1 回蘇生科学シンポジウムを学術集会前日に開催した。

循環器救急医療制度小委員会として循環器救急についてのアンケート調査を行った。

以上の委員会報告および資料に掲載されている他の委員会報告について、一括して承認された。

第 9 号議案： 第 73 回学術集会会長挨拶・第 74・75 回学術集会会長の承認

1) 第 73 回学術集会報告

堀正二会長から次のとおり報告があった。

会期は 2009 年 3 月 20 日（金）～22 日（日）とし、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルを中心に開催する。

メインテーマを「リスクに挑戦する循環器病学 - 新たな展望と戦略 - 」とし、Cardiovascular risk だけでなく、循環器学が直面しているリスク、社会的なリスクに対して果敢に挑戦していくという思いを込めたテーマを選んだ。

美甘レクチャーには再生医学で有名な Dr. Piero Anversa、真下記念講演には大阪大学審良静男先生、特別講演についても資料に記載のとおり 7 名を予定している。ライブデモンストレーションについても教育セッションのビデオライブとして開催する。

市民公開講座も開催予定である。

2) 第 74 回学術集会報告

第 74 回学術集会会長として北徹先生（京都大学大学院医学研究科循環器内科学）が承認された。続いて北徹会長より、会期を 2010 年 3 月 5 日（金）～7 日（土）とし、国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都を中心に開催する旨、報告された。

2) 第 75 回学術集会報告

第 75 回学術集会会長として小川聡先生（慶應義塾大学医学部呼吸循環器内科）が承認された。続いて小川聡会長より、2011 年 4 月初旬に開催される医学会総会（東京）の直前に横浜での開催を予定している旨、報告された。

第 10 号議案： その他

その他、議案の提起はなかった。

・ 授賞式

総会議事に引き続いて、授賞式が行われた。受賞者は下記の通り。

・ 第 33 回日本心臓財団佐藤賞

清水 渉（国立循環器病センター心臓血管内科）

・ 第 25 回 Young Investigator ' s Award

最優秀賞：西村 智（東京大学循環器内科）

優秀賞：湯浅慎介（慶應義塾大学循環器内科）

優秀賞：朝野仁裕（大阪大学循環器内科学）

優秀賞：山口 修（大阪大学循環器内科学）

優秀賞：竹下享典（名古屋大学循環器内科学）

・ 第 17 回八木賞

中岡良和（大阪大学循環器内科学）

・ 第 16 回 CPIS 賞

古橋真人（Harvard School of Public Health, Department of Genetics & Complex Diseases）

・ 第 8 回高安賞

粟田政樹（関西労災病院循環器科）

・ 第 3 回心臓血管外科賞

中嶋博之（国立循環器病センター心臓血管外科）

・ 第 3 回小児循環器賞

梶本英美（久留米大学循環器病研究所）

・ 第 2 回循環器再生医科学賞

基礎研究部門

山原研一（国立循環器病センター研究所再生医療部）

臨床研究部門

竹原有史（京都大学探索医療センター）

・ 第 1 回女性研究者奨励賞

宮坂陽子（関西医科大学附属枚方病院第二内科）

・ 第 6 回国際留学生 Young Investigator's Award

最優秀賞：Dyah Wulan Anggrahini（神戸大学循環器内科学）

優秀賞：Udin Bahrudin（鳥取大学遺伝子再生医療学）

優秀賞：宋 海花（順天堂大学循環器内科）

優秀賞 : 顔 培実 (京都大学再生医科学研究所附属幹細胞医学研究センター 幹細胞分化制御研究領域)

優秀賞 : 陳 玲 (九州大学循環器内科)

・ 第 4 回 Circulation Journal Award

Clinical Investigation

最優秀賞 : 和田恭一 (国立循環器病センター薬剤部)

優秀賞 : 北原辰郎 (山形大学医学部附属病院第一内科)

優秀賞 : 辰巳哲也 (京都府立医科大学循環器内科)

Experimental Investigation

最優秀賞 : 豊田英嗣 (川崎医科大学循環器内科)

優秀賞 : 原田睦生 (山形大学医学部附属病院循環器科)

以上をもって本日の議事を終了し、議長から長時間の協力を謝辞があり、閉会した。

上記の議事の経過及び結果を明らかにするため、この議事録を作成し議長並びに議事録署名人、これに署名押印する。

2008 年 3 月 28 日

第 72 回 社団法人日本循環器学会総会

議 長

議事録署名人

同

(以下余白)